

会 議 議 事 録 (要旨)

会議等の名称	令和3年度第3回磐田市子ども・子育て会議
担当部課名	こども部こども未来課
開催日時	令和4年3月16日(水) 10:00~11:00
開催場所	WEB開催 (Zoom)
出席者	出席委員 (敬称略8人) 鈴木 敏弘、小笠 元基、江塚 会里、小野田 樹、川島 達也、蓑 江美、 梶山 美里、平野 恵美 事務局 (9人) ・こども部 部長 鈴木壮一郎 幼稚園保育園課 課長 川島光司、課長補佐 伊藤里香 総務G 主事 市川翔 こども未来課 課長 伊藤修一 こども支援G 主幹兼G長 岡田佐栄子、主事 清水駿介 放課後児童支援室 課長補佐兼室長 内野恭宏 主任 土井雅哉
議 題	(1) 磐田市幼児教育・保育推進計画について (幼稚園保育園課) (2) 令和4年度の「こども未来課の組織再編」について (こども未来課) (3) 任期満了に伴う感想・意見など (委員)
配付資料等	資料1 磐田市幼児教育・保育推進計画 (案) 資料2 令和4年度の「こども未来課の組織再編」について (電子データのみ)

<p>1 開会 (こども未来課)</p>	<p>令和3年度第3回磐田市子ども・子育て会議を開いたします。今回は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、Zoomを活用したWEB開催とさせていただきます。初めての試みで不具合等あるかもしれませんが、御理解と御協力をお願いいたします。本日、会長が欠席されているため、会長代理の副会長に議長をお願いいたします。</p>
<p>2 議題等 副会長</p>	<p>不慣れですがよろしくをお願いいたします。それでは、議事に入らせていただきます。 議題1「磐田市幼児教育保育推進計画(案)について」です。 事務局から説明をよろしくをお願いいたします。</p>
<p>事務局 (幼稚園保育園課)</p>	<p>～幼稚園保育園課 説明～</p>
<p>副会長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、ただいまの件につきまして、御意見・御質問・御感想等がございましたらお願いしたいと思います。 それでは、ないようですので、議題2「報告事項令和4年度の「こども未来課の組織再編」について」事務局より御説明をよろしくをお願いいたします。</p>
<p>事務局 (こども未来課)</p>	<p>～こども未来課 説明～</p>
<p>副会長</p>	<p>ありがとうございました。それではただいまの件につきまして、御意見・御質問等がございましたら、よろしくをお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>組織再編の「こども一人ひとり」は平仮名の「こども」、基本方針は漢字の「子ども」となっている意味や想いを教えてください。</p>
<p>事務局 (こども未来課)</p>	<p>「子ども」と「こども」が資料の中に散在しているということを御指摘いただいているかと思いますが、基本的には「子ども」表記を国や市の文書として使用しています。組織の表記では「こども部」ができた際、全て平仮名で部の名前を付けました。その後、こども未来課やこども若者相談センターの表記は、組織の名称はできるだけ柔らかく受け取っていただきたいということで、全て平仮名表記を使用しています。ただし、それは事情を知っている人が説明できる話で、市民</p>

	<p>にとっては非常に迷いが生じるかもしれないと思いましたが、今後、検討させていただきます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。市として意味があって表記を区別している部分は、市の想いも伝わっていくのかなと思いました。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>令和4年度組織再編の発達支援に「専門職の増員」とありましたが、どのような専門職を増やす考えですか。例えば、言語聴覚士などの子供の発達に関係する専門職なのか、保健師さんの増員に留まるのか、教えていただきたいです。</p>
事務局 (こども未来課)	<p>職種としては、保健師、幼稚園教諭・保育士資格を持つ園の先生、教員の資格を持つ現役の教員、臨床心理士を発達相談グループに配置します。言語聴覚士等については、市の「ことばの教室」にも配置されていますので、発達相談グループだけではなく関係機関で連携を深くして、スタートを切っていきたいということを考えております。</p>
委員	<p>言語聴覚士や保健師等、個々の対応についてケースを持ち寄る協議会などの設置は考えていますか。</p>
事務局 (こども未来課)	<p>組織の具体的な検討は、まだ至っておりません。専門職が集まり新たに組織が配置される中での検討事項だと思っています。発達支援については、1歳6か月児健診ではじめに見つかるケースが多いですが、そこから2歳・3歳に対する支援に、ばらつきがある中で、支援決定におけるプロセスの中で検討会議的な組織が欲しいという考えは必ず出てくると思いますので、新しい組織が立ち上がった後に検討していく必要があると思っています。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、議題3「任期満了に伴う感想・意見など」について、今回は任期の最後の会議となりますので、委員の皆様から、子ども・子育て会議に参加して感じたこと等の御意見・御感想をお話ししていただけたらと思います。</p>
委員	<p>保護者の方とお話をしていくと、小学校に上がったタイミングで、大きいこども園から来た子どもの保護者同士は交流があり、その間で</p>

副会長

色々な情報交換もできていますが、保育園等から入ってくるお母さんたちは、横の繋がりが薄く情報が得られないという話を聞くことがあります。これだけ情報化社会と言われている世の中でもそのようなギャップが生まれてしまうので、それを減らすために、行政等も含めて、今回の計画に関しても、できる限り多くの方に分かりやすく伝わるようになっていくと良いと思いました。

ありがとうございました。

委員

教員としての視点でお話をさせていただきますが、今年度、県や市でヤングケアラーの調査が行われました。小中高校生が子どもの面倒を見ているという調査ですが、この会議でいうと、そのような家庭環境が整っていない子どもに対して、どうアプローチしていくかというのも大切な視点だと思っています。組織の再編・充実とは、今後、社会を考えたときに必須だと思っています。また、この推進計画の中にコロナのことは書けないとは思いますが、学校現場では学級閉鎖が続いており、感染リスクが1番高いのが今の第6波だと感じていて、ただ、社会や経済も並行して動かしていかななくてはいけないときには、子どもたちをみてもらわなければ苦しいというのが実感で、園の充実というのは大事ですし、そこを支えていただく園の先生方の充実や体制づくりが、社会としては求められていると思っています。最後に、今年度、ながふじ学府が開校しました。どうしても小中連携や小中一貫という言葉が先にきてしまいますが、そこに園が入った連携がこれから求められていくと思います。9年ではなく、12年スパンの教育計画ということも、視点としては大事なのかなと考えています。

会長

ありがとうございました。私も民生委員を務める中で、先生方がコロナ禍で厳しい状況で学校行事を行ってくれることが、子どもたちの心の支えになると感じています。また、ヤングケアラーの問題ですが、民生委員としても、家庭の中まで入ること出来ませんので、なかなか実態を把握することは難しく、今後の課題だと実感しております。

委員

今回、とてもお世話になっている保育園や園の先生方に何か恩返しが出来たらと思い立候補しました。これまでの子育てにおける思いを、この機会がなかったら、言うことができなかつたと思いますので、委員として参加出来たことをとてもありがたく思っています。ありがとうございました。

副会長

ありがとうございました。

委員

磐田市の最新の計画や、市の子育て支援について、この会議で具体的に教えていただき、それぞれの立場や角度から、皆さんの御意見や考えを聞くことが出来て、本当に良い気付きや学びをたくさんいただきました。ありがとうございました。

こうのとりの保育園は、市内で唯一日曜祝日保育を行っています。日曜日は希望者が少ないですが、祝日保育は希望者が大変多く、1園で対応しきれていない部分もあります。幼稚園保育園課にもお願いし、続けていますが、ぜひ他園にも協力していただき、困っている家庭が安心して祝日に仕事に向かえるような体制を、市としても早急に対応していただけるとありがたいと思っています。私自身も関わったことがあります。民営化やこども園化が進んでいくなかで、公立と私立の連携や協力は、市の支援がないと、難しいと思いますので、そこも引き続きお願いしたいと思います。

副会長

ありがとうございました。

委員

皆さんの子どもへ対する熱い思いを知ることができ、参加させてもらって良かったと思っています。組織の再編では、子どもに寄り添うことを考えていただけるということで安心しております。それに加え、保護者への支援も大事になってくると思いますが、あいむ保育園では0～3歳までの未満児を預かっており、その中でもグレーゾーンの子どもが昔より増えていると感じます。小さな保育園のため情報が入ってこないこともあり、市の保健師さんや発達支援の方と、グレーゾーンの子どもを、共に、多職種で支え合っていきたいと考えています。グレーゾーンの子どもを抱えたお母さんは、育てにくさを感じ、思い悩んでしまった結果、虐待に繋がるという恐れもあるので、市と連携を強化していきたいというのが強い願いです。今後もよろしく願います。

副会長

ありがとうございました。

委員

1年間、発達支援事業所という立場で参加させていただきましたが、本当に多くのことを気付かせていただきましたし、私自身、学びになりました。ありがとうございました。情報が得られないという話もありましたが、コロナ禍の2年、保護者同士の繋がりが希薄になってきていると感じます。実際、児童発達支援も、放課後等デイサービスも、

保護者の送迎では、本来ならば子どもたちの様子を中に入れて見ていただいているところが、玄関で帰っていただいております、保護者同士の情報交換の場面がとても少なくなってきました。その中でも私たちにできることや行事を継続しながら、保護者同士の繋がりをどのようにつくっていくかを試行錯誤した2年だと思っています。複数の問題を抱えている家庭が増えてきているという実感がある中で、「行政との連携を図りながらできることをやっていく」ということが重要だと、参加させていただいて強く感じました。

副会長

ありがとうございました。

委員

市民の1人として会議に携わらせていただき、本当にありがとうございました。私も小学3年生の子どもがいますが、子育てをするなかで目に見えている部分というのは本当に僅かで、その裏には、市の色々な計画があるということが改めて分かりました。子どもは未来の宝だとよく言われますが、その宝を、これから市として大事に育てていこうという想いで熱心に計画が練られ、今後、計画が実行されていくということは、市民の1人としてすごく期待が持てるのと同時に、もう1度、乳幼児期に戻って子育てが出来たら、また少し違う経験が出来たのかなという思いもあります。乳幼児期に手厚く見ていただいたものが、小学校、中学校に行っても「やっぱり磐田で育つていいよね」となるように、縦の連携もしていただけると、子育てをする保護者としては、ありがたいことだと思います。

園が再編されていく中で、私の子どもは90～120人規模の保育園に通っており、他のクラスの様子や保護者の顔も分かったりしましたが、再編する中で、定員が大きな園が増えていく印象があり、一人ひとりに寄り添いきめ細やかに見ていくとなると、子ども1人に対しての先生の人数規定はあると思いますが、環境としてどうなのかなとも思います。少子化の問題もあるので、簡単に園を増やすわけにはいかないと思いますが、もう少し定員を減らして、園を増やしたほうが良いのではないかということも感じました。

副会長

ありがとうございました。

私も皆さん一人ひとりのお話を伺いながら、大変参考になる話ばかりで、素晴らしいと思いました。それぞれの今の切実な課題がひしひしと感じられ、市の政策に反映されるお話が多いのではないかと思います。

会議の進行に御協力をしていただきまして、誠にありがとうございました。

事務局
(こども未来課)

ます。それでは、事務局にお返しいたします。

ありがとうございました。最後に、こども部長から御挨拶申し上げます。

3 閉会

事務局
(こども部長)

皆さん改めまして、こんにちは。

本日は、新型コロナウイルスの第6波とオミクロン株の感染拡大で、WEB開催とさせていただきました。御理解・御協力ありがとうございました。最後の感想では、各委員の思いや考え方をお聞かせいただき、非常にいい時間だったと思っています。御発言を裏切らないように頑張っていきたいと思えます。各委員の任期は終わりになりますが、子育て支援や磐田市の今後の発展には、皆さんの力が必要です。今後も、子育てについて考えていただき、我々に助言や提案をいただければと思いますので、委員ではないから発言が出来ないのではなく、こども未来課、幼稚園保育園課、こども部がありますので、忌憚のない御意見をメールでもお電話でも結構ですので、ぜひお寄せいただければと思います。よろしく願いいたします。

2点だけ御説明させていただくと、寄り添う支援は、1歳6か月児健診で発達の心配があっても早期支援に繋がらないという観点から、母子手帳の交付にお見えにいただいたときから関係性を良くすることで、子どもの発達の心配等にも寄り添いながら1歳6か月児健診をむかえるという形をとりたいと思っています。1歳6か月児健診で初めて保健師と会って、発達の相談は出来ませんよね。平日頃から関係性を築くというところから「寄り添う」という言葉を使わせていただいております。子どものこういうところが心配だよという信号をできるだけ早くキャッチして、その家庭に合った支援策を市としてコーディネートしていくということで御理解をお願いします。

2つ目は、発達相談グループに様々な資格者をつけていますが、受け身の姿勢はとりません。市内に幼稚園保育園こども園は小規模保育所も含めると57施設ありますが、全ての園に出向かせていただきます。出向くことにより現場の声を聞けますし、園での生活状況も垣間見ることが出来ます。そのようなところから先生方の悩みにも寄り添い、子どもの見立ても行い、健診と連動する中でデータを蓄積し、関係者がその情報を使っていくという体制をとりますので、施設勤務の方におかれましては、「うちに来てください」と言ってください。そのときには、お力添えをお願いしたいと思えます。

最後に、人事異動の内示の発表があり、幼稚園保育園課長、こども

事務局 (幼稚園保育園課)	<p>未来課こども支援グループ長が退職をいたします。また、主担当のこども未来課長、放課後児童支援室長も異動になりますので、時間をいただき、最後の挨拶をさせていただければと思います。</p> <p>幼稚園保育園課長の川島です。2年間ありがとうございました。幼稚園保育園課は初めての仕事ばかりでしたが、楽しく仕事をさせていただきました。ありがとうございました。</p>
事務局 (こども未来課)	<p>こども未来課こども支援グループ長の岡田です。子ども・子育て会議に3年間携わらせていただきました。会長をはじめ、皆さんに御協力いただき、気づきがたくさんありました。しっかりそれを引き継いでいきたいと思っております。皆様、今後とも御協力をお願いいたします。ありがとうございました。</p>
事務局 (放課後児童支援室)	<p>教育総務課放課後児童支援室長の内野です。2年間ありがとうございました。今後の磐田市は、各家庭の方が安心して子どもを預けられ、安心して仕事ができるような環境を第一に整えていけたらと思っています。また、この2年間の中で、皆様から色々なことをお聞きし勉強になりました。短い期間でしたがありがとうございました。</p>
事務局 (こども未来課)	<p>こども未来課長の伊藤です。この度、人事異動で企画部政策推進課長に異動をすることになりました。6年間、この仕事に携わらせていただき、子ども・子育て会議にもずっと出ておりました。その中で、色々な課題や気づきを歴代の委員の方からいただき、ご説明したように組織を変えたいという思いを持ち、組織を変える仕事もしてきましたが、それも、皆様からの御意見の積み重ねがあったからこそであり、自分たちだけの思いでは出来ないことだと思っています。組織を変えた後、自分で携わることなく離れてしまうのはとても寂しいですが、市全体の政策を眺め、推進していくような部署に異動し、子どもに関する施策についても引き続き関われると思っていますので、またぜひ皆様のお力をお借りしたいと思います。ありがとうございました。</p>
事務局 (こども未来課)	<p>それでは、以上をもちまして、令和3年度第3回磐田市子ども・子育て会議を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>